黒潮町立佐賀中学校学校通信

佐中だより

『人間を大事に ～自他ともに大切にすることができる～』 2021．7．15（木） No．14 文責：宮川

地域と学校をつなぐ「あいさつ」

7月11日（日）防災学習講演会の中で、狐鼻さんが話してくれたことの中で、次のような言葉がありました。「被災したとき、日頃からやっておいてよかった。」と思うことの一つに、地域の人とのあいさつをあげてくれました。このあいさつのおかげで、避難時や被災後も、地域の高齢者から声をかけられたり、逆に子どもたちも気軽に声をかけることができたそうです。このように、地域とつながるあいさつについて教えてくれた講演会でした。

皆さんも、日頃から「地域の人たちとつながるあいさつ」とは、どうすればいいだろう？今一度みんなでこのことを考えてみませんか。

黒潮町教育委員会　学校訪問

7月13日（火）5，6校時に黒潮町教育委員会の学校訪問がありました。まず、教育委員さん方が1～3年の授業を参観されました。その授業の感想も含めて、6校時は校長先生と協議されました。今回の学校訪問でも、外部の方にしっかりとあいさつをすることができていたように思います。生徒会からの働きかけもあり、生徒のあいさつの声が少しずつ大きくなってきているとの声をよく聞きます。今後はこの挨拶を地域にも広げ、「日本一すばらしい挨拶ができる学校」を目指していきませんか？この夏休み、地域の方から「今年、佐賀中学校の生徒は違うねえ。すばらしい。」という声をたくさん聞きたいですね。

保小中連携会議について

13日（水）3校時の1年生数学を佐賀中校区の保育所、小学校の保育士や管理職の方々に参観してもらいました。授業の感想では、班の中でしっかり教え合いができていることや、発表が活発にできていることなどをほめてもらいました。ただ、「授業内容のまとめは、子どもたちでまとめることができたらよかったのでは？」ということが出されました。これらの意見を参考にして、さらにより良い授業になるようにしていきたいですね。

非行防止及び薬物乱用防止教室

15日（木）2年生非行防止教室、3年生薬物乱用防止教室を行いました。講師は中村警察署生活課より来ていただき、お話をしていただきました。

夏休みはいろいろな誘惑があり、犯罪に巻き込まれる割合が増えてくる季節でもあります。そのため、この長期の休み前に犯罪に関する防止教室を計画し、2、3年生に学習してもらう機会を持ちました。特に薬物については、芸能人やスポーツ選手などで逮捕者がでるなど、一度手を出したら入院などを繰り返すことや、その誘惑から抜け出すことが難しいことなど、治療には長期の時間が必要だと言われました。このようなことを学ぶことができた貴重な防止教室となりました。

夏休みの熱中症対策について

19日（月）終業式を行い、その後長い夏休みに入ります。今年の夏も猛暑が予想されており、部活動時などでは熱中症対策が必要です。養護教諭の公文先生とも協議し、以下のことを部活動練習で気をつけていってもらいたいと思います。①定期的に水分補給をする。②1時間に1回は休憩を入れる。③睡眠時間を十分にとる。④朝食をしっかりとる。他にもありますが、③④をご家庭でも注意してもらい、熱中症を防いでいきましょう。

～大谷翔平選手の運を呼び込むルーティーン～

7月14日（水）メジャーリーグでオールスターゲームが行われ、大谷選手が二刀流として活躍したことが伝えられました。その中で、グランドに落ち着いているゴミ拾いのことが報じられていました。このゴミ拾いは運を呼び込むルーティーンとして、大谷選手が高校時代から続けているものだそうです。これ以外にも大谷選手は運を呼び込むものとして、「あいさつ」「部屋掃除」「道具を大切に使う」「審判さんへの態度」「プラス思考」「応援される人間になる」「本を読む」をあげています。皆さんも大谷選手があげているルーティーンの中で、やってみようということを試してみて、ぜひ運を呼び込んでみることに挑戦してみませんか？この目標達成シートはインターネットに載っていますので、夏休み見てください。